

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 3月 16日
研究・研修課題名	医療安全講習受講管理システムを活用した業務改善効果に関する研究
研究・研修組織名(所属)	クリニカルスキルアップセンター
研究・研修責任者名(所属)	佐藤直(クリニカルスキルアップセンター)
研究・研修実施者名(所属)	佐藤直(クリニカルスキルアップセンター)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容①目的

当院では、安全・安心な医療を提供するため病院機能評価を通じて「病院の質」改善につとめている。2018年に受審した病院機能評価において院内 BLS (Basic Life Support: 一次救命処置) の未受講者管理について指摘を受けた。これまで中途採用や出向などの、人事に応じた未受講者管理が不十分であり受講者の管理にとどまっていた。そこで、院内各部署に BLS 責任者を設置し定期的に未受講者の把握を図った。しかし、責任者との情報共有は煩雑であり業務負担を要した。そこで本研究では、医療安全講習受講管理システムを開発し受講/未受講者の一元管理および、受講促進の強化を目的とする。

②方法

医療安全講習受講管理システムでは、ライフイベントによる氏名変更の影響を除外するため氏名、職員番号および、大学付与のアドレスを紐づけたデータベースを登録した。2021年度は大学職員を含む病院職員 2,084 名を対象とし受講者数および、未受講者数を算出した。抽出した未受講者にたいし、受講を促す有効期限メールを自動送信した。

③成果

これまで実習型 BLS 研修を開催してきたが、新型コロナウイルス感染症によって対面での集合研修が困難となった。そこで、個人学習が可能な e-learning 教材を作成し病院職員の学習支援を図った。e-learning 教材は病院職員のみが閲覧可能な YouTube に掲載し、Forms による確認テストを行うことで修了とした。実習型研修の有効期限は 2 年間であるが、e-learning 型研修の有効期限は 1 年間とした。多様な学習方法によって、異なる有効期限が設定され受講/未受講者の管理がさらに煩雑となった。そこで、2021 年 12 月に医療安全講習受講管理システム (図 1) を構築し受講者、未受講者の把握を確実にできるようにした。また、有効期限を個別にメール通知するシステムを実現した (図 2)。有効期限を定期的に通知することで、病院職員の計画的な受講が期待できる。2021 年度は、未受講者を対象に医療安全講習受講管理システムを活用した自動メールを送信した。その結果、2021 年 4 月～2022 年 3 月の BLS 受講者は 1,939 名で受講率 93%であった (実習型研修 371 名, e-learning 型研修 1,547 名, 外部講習等受講者 21 名) (表 1)。

以上の成果より、学習状況が異なる職員を適切に把握し有効期限を通知するシステムは、受講率向

(様式1)

上に寄与すると考える。開発したシステムは当該研究のみならず、様々な講習会に応用できると考える。今後は、院内研修の一元管理に向け医療安全管理部と協力をし、病院職員の業務改善を目指したい。



図1. 医療安全受講管理システムの画面と受講者管理画面



図2. 有効期限の確認画面と自動送信されたメール内容

表1. 過去5年間のBLS受講状況

年度	研修回数 (件)	受講者数 (人)	備考
2017年度	54	756	
2018年度	79	1,210	病院評価機構から未受講者の把握について指摘
2019年度	153	1,894	院内各部署に連絡責任者を設置
2020年度	36	284	新型コロナウイルス感染拡大
2021年度	61	371	
	e-learning 外部講習受講	1,547 21	医療安全講習受講管理システムにて受講率93%